

令和3年10月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

新型コロナウイルス感染者の大幅な減少に伴い、人や物の動きが出てきたことから、飲食・宿泊や商店街の対面サービス、卸売業等を中心に景況感が好転し、10月期の景況DI値は先月に続き上昇した。

一方、食料品や産業用機械等の製造業及び建設業等においては、原材料・資材価格の高騰や外国人労働者等の人手不足が続き、また、運輸業等においては、原油価格高騰の影響が危惧されることから、先行きへの不透明感がある。

多くの業種において、経営状況は未だコロナ禍前には戻っていないことから、感染状況がこのまま落ち着き、回復基調が続くことを期待している。

山口県の主要指標 DI 値（令和3年10月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI 値}$

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：42.5% DI値：▲36.2% ポイント

売上高 $(\text{増加} - \text{減少}) = \text{DI 値}$

前年同月比は、増加：21.3% 減少：38.8% DI値：▲17.5% ポイント

収益状況 $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI 値}$

前年同月比は、好転：11.3% 悪化：38.8% DI値：▲27.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和3年10月末現在）

--	--	--	--	--

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲37.5	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲16.7	▲33.3	0.0	▲34.3

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業	全体
0.0	▲37.5	▲80.0	▲36.4	▲36.4	▲28.6	▲100.0	▲37.5	▲36.2

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	令和2年に比べると、若干、観光土産菓子、企業・法人の出張土産需要が戻ってきた。イベント等も始まりつつあるが、法要の動きなど、以前の景況感には程遠い。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	カレンダーの曜日の関係で、営業日数が少なく、売上が減少している。コロナ禍の前年同月比で10%の減少、コロナ前の前々年同月比で11%の減少。	パン・菓子製造業 下関市
	海外市場との競争で製品価格が抑えられる傾向があるが、日本の水産業は、海、港湾の環境には大変恵まれており、これからは地産地消が見直されるかもしれない。それにしても、漁業者や水産加工業者の後継者がいないことを、大変心配している。	水産食料品製造業 長門市
	コロナ禍の業況は、組合員の業種により、変わらない組合員と、季節的に厳しい組合員とに分かれている模様。数値的な部分はわからないが、今年秋冬の業況はコロナの状態とワクチンの普及率で変わってくると思われる。コロナが落ち着き、実習生の入国緩和によって、ベトナムで待機中の実習生が入国できるかもしれない状況となったが、ただ、今から忙しくなる組合員も多く、それには間に合いそうもなく困っている。しかしながら、実習生が入国できる環境になったことは良かった。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルス感染者が減少傾向にあるが、10月も売上の上昇の兆しは見え、首都圏の緊急事態宣言解除による上向きの業況は時間差で現れるのであろう。業界の現在でも、原料不足・原料高騰が懸念材料であるが、今後は更に、温暖化等の追い打ちを受ける懸念も払拭できない。現状で前年の20%割れの売上であるが、新型コロナウイルスが収束傾向である中のお歳暮商戦に期待している。	
	J A山口県から提示された令和3年産仮渡金価格の提示の影響により、一般取引の米価格も15~20%の下落となり、売上高の大幅な下落が決定的となった。新型コロナウイルスの蔓延に伴う自粛活動の影響から農産物の在庫が増えており、経済活動の制限については、今後、行わないような措置が必要。	精穀・製粉業
繊維工業	現在の外国人技能実習生は、中国12名、ベトナム26名、合計38名。新型コロナウイルスの影響でベトナムの送り出し機関との面接はできない状態が続いている。ベトナム人実習生1名が帰国。コロナ前は年4回20名の入国があったが、令和3年は1月6名のみの入国	下着類製造業

	であった。	
	各種輸入資材の入荷が不安定な状況である。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	組合の売上が若干有る。	製材業・木製品製造業 岩国市
	前年と変わらない状況。	製材業・木製品製造業 山口市
	組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年10月に比べ5%の減少、コロナ禍の令和2年10月と比べ20%の増加。組合員の売上額は、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。建築業界からの注文が増大しつつも人員不足により対応難である。現在の需要に対して過剰気味の在庫となっており、現在の流れが止まった時の余剰在庫に不安がある。国産材（スギ・ヒノキ）の価格については対前年同月比で概ね2～3割高が続いている。柱KD材の高騰が依然として続いており、製品注文した場合に通常時よりも納期がかなり遅れることに困惑している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	岸田政権へのコロナ対策と経済対策への期待は大きいですが、現在鎮静化している感染拡大もいつまた再拡大するのかという不安も拭えない状況である。印刷業界にとって令和3年の総選挙は大きな追い風であるものの、株価動向に表れているように選挙後の景気動向は不透明であり、印刷業には不可欠である定期的な設備投資も相変わらず低調である。しかしながら、各企業とも生き残りをかけて業態変更や省力化、効率化に取り組んだことで、従来では考えられなかったビジネスワークが実現可能となり、所謂働き方改革が進んだことはコロナ効果の一つと言えるかもしれない。	印刷 下関市
	10月は夏場から受注していた大型の物件が納品でき、売上が上がった。手作業による部分が大半を占め、工場内もパート従業員を雇用するほど多忙であった。	印刷 山口市
窯業・土石製品	出荷量は、前月比121%、前年同月比97%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	中国の電源供給問題で、現在、自家発電により加工している状況ということで、中国製品の年末までの注文価格が上がるという知らせが届いた。しかしながら、今現在、組合員は自社加工をしているので問題は無い。	石工品製造業

	<p>10月の売上は、前年比で横ばい。百貨店やギフトなど卸の売上がやや減少。10/1～20まで、「萩焼まつりWeb版陶器市」が開催された。令和2年に引き続き2回目の開催で、送料無料、特産品プレゼントの特典、3Dによる作品紹介、萩焼フォトコンテストなど、イベントも盛り沢山であった。会期中の売上は約500万円。前年の約750万円から大きく売上を落とす結果となった。10/15～19まで、川崎駅地下「アゼリア川崎」で萩物産フェアが開催され、当組合から4社が参加した。萩焼の即売やろくろ実演を行い、萩焼の周知、販路拡大に貢献できたと思う。売上は5日間で200万円程度と予想をやや下回る結果となった。</p>	<p>陶磁器・同関連 製品製造業</p>
一般機器	<p>新型コロナウイルスの影響で引き続きリモート面接を実施しているが、ベトナムも感染拡大でロックダウンとなり、外国人技能実習生の募集も困難で、面接も延期になっている。合格していた実習生も入国がいつになるかわからず、キャンセルが発生してきた。特定活動中の実習生がワクチン接種を2回終了したので帰国し始めた。外国人技能実習生の入国がなく帰国ばかりで縫製業は困っている様子。</p>	<p>一般機械器具製造業 岩国市</p>
	<p>10月の周南コンビナートでは各所定期補修工事期間に入るため、例年、繁忙期となる。新型コロナの影響で約1～2年前に延期や中止になっている工事案件もある中で、令和3年もある程度の仕事量は確保できている模様であるが、後半、定期補修工事が終わった段階の次の仕事量が少ないため、苦労している。年度末にかけては、前年と比べると仕事量がかなり減っているようである。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>コロナ禍による生産調整がマイナス要因となっており、仕入れ単価（原材料、購入品等）が上昇し利益が圧縮されている。大手自動車メーカーの生産停止により、車両の開発スピードが遅くなっており、新規の受注も少なく状況が悪化している。間接員と見習いは必要最小限の人員とし、戦力の人員だけに刷新し、数年前から受注のない部門は取り止め、機械加工専門の工場になった。人手不足が続いているが、受注量は多く、納期の調整に苦慮している。ただ、材料費が高騰して単価が上がるため、利益に結び付くか不透明である。電気部品などが品薄で入手が困難で、インフレ傾向が強くなっている。人手不足もあり、社員に負担がかかり、解決策がない。鋼材、高圧ボルト、消耗品など生産に必要な資材が日毎に値上がりしている。このことで、業界では関係省庁及び製造メーカーへ陳情活動を行っている。一方、これに並行して、取引先に対して、単価の値上げ、適正価格での発注を要望している。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>

	<p>新型コロナウイルスの蔓延による企業業績への影響が、製造業の一部企業に若干出始めてきた中で、新たに食肉加工業者が売上減により倒産した。一方、大半の企業では、外国人技能実習生の入国が出来ず人手不足から残業が増加し、事業の縮小を余儀なくされる等の支障が出てきており、入国制限の早期解除が望まれるところである。新規入国が出来ないため、企業からは特定技能、特定活動の労働者の紹介を依頼されることが増えてきたにも関わらず、外国人技能実習生の都市部の高賃金企業への転籍が増え、また、人道的見地から帰国するケースも増えてきている。そのため、各企業とも人員の確保に苦慮している。</p> <p>原材料価格の上昇や部品調達難で、先行きが不透明な状態が続いている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両関係は、現状は順調に推移しているものの、コロナ禍の影響で国内外ともに2～3年先の新車両計画が不透明で、確かな見通しが立たない状況である。半導体は、引き続き好調に推移している。コロナウイルスはやや落ち着きを見せ、規制も徐々に緩和されつつあるも、引き続き感染予防対策に費やす業務外のことが負担となっている。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>倉庫売上は前年同月比でほぼ同等で、いりこの減少分を海産物でカバーできている状況である。特にカキの入出荷は順調であり、大きく売上を伸ばしている。</p>	乾物卸売業
	<p>令和2年に比べると景気は回復しているが、「ふく」は天然、養殖ともに品薄である。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>コロナ禍の影響により、売上が伸びず、資金繰りに懸念がある。</p>	各種商品卸売業 山口市
	<p>新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、不要不急の外出を控えるとともに、移動の自粛が求められる中、集客するための方法である広告の売上が著しく減少した。全国の感染者数が減少した今でも、第6波を懸念してか、広告の売上の戻りは芳しくない状況である。</p>	各種商品卸売業 下関市
小売業	<p>緊急事態宣言解除や時短営業解除等で徐々に客が増えており、特にインショップではデベロッパーの企画等客足が増え売上が増加している。組合では組合員に全国化粧品小売協同組合の「粧サポ」というLINEの登録を依頼している。現在山口県の店舗の登録数は30%弱だが、今後70%を目標に目指している。「粧サポ」はコロナ過のフェイスガードの斡旋や他店の好事例などを紹介している。このような情報共有で各店舗の売上が伸びればうれしいものである。</p>	化粧品小売業

	事業継続補助金の恩恵もなくなり、また米価の下落による農業者の購買意欲やモチベーションの低下が見受けられる等、業界の景況は悪化している。	農業用機械器具小売業
	売上は前年同月比で95%位。半導体の不足で一部の商品（エコ給湯器、ホームランドリー、冷蔵庫等）の入荷が遅れている。	機械器具小売業
	隣接するスーパーアルク光店の改修工事が10/5～10/27の予定で始まっており、組合員の売上もかなり落ちている。	各種商品小売業 光市
	コロナ禍の令和2年10月と比べ約83.8%、コロナ前の令和元年10月と比べ54.7%の売上。また、売上が前年度を上回ったのは7月までで、8月以降前年比売上の減少が続いている。来街者が減少したまま回復していないので、駐車場売上の減少が続いている。貸しホールについては、大きなホールの申込みがなく売上減少が続いている。会議室の利用は回復傾向にある。	各種商品小売業 周南市
	令和3年9月の売上は令和2年9月と比べ▲15.6%と厳しい結果。令和3年10月も10/24時点で令和2年10月と比べ▲14.5%で推移している。令和2年の9～11月はGoToトラベルの特需で令和元年と比べ20%以上と大幅に伸びたので、コロナ前の平常時に戻ったともいえる。また体育の日が8月に移って3連休が無かったこともマイナスの要因である。当面の間は客足の鈍さが続く想定しているが、感染状況が落ち着いてきているため、多少は回復基調になる事を期待したい。	各種商品小売業 萩市
	10月の前年比供給高は109.7%、来店者数は101.7%。累計は、供給高96.6%、来店者数93.8%であった。コロナ過で例年10月に行う誕生祭が開催できない代わりに、10/1～10の期間、組合員1家族1回限りで10品まで10%OFFを行ったが、この期間は前年比120%であった。	各種商品小売業 下関市
商店街	コロナ対策関連規制が解除になり、飲食店をはじめあらゆる業種業態の小売店での賑わいは、ムラはあるものの、取り戻しつつある。お金、人、信頼、機会等の通常運転を取り戻すには、まだ長い時間が必要であるが、回復基調を肌で感じられることは、商業者にとって何より大切なことである。今後はコロナ関連の感染事故が起こらぬよう、日々の努力を重ねていくのみである。選挙においては有権者、国民は一票に何を託せばよいのか、分からなくなっている。自治を行う上で最も大切な心理である郷土愛や愛国心等のシビックプライドが育たないのが何故なのか、自戒していただきたい。	岩国市

	イベントも再開されはじめ、これから街の活気が出てくればと願う。市制100周年を境に「落ち着いたのある賑わいの新天町」を目指していきたい。	宇部市
	商店街の通行量は多少増えてきた。しかし、外来者からの購買力は上がっていない。飲食店は先月より20%位は増加しているようである。野菜の収穫量が増加し、野菜販売店で売れ行きは増えている。しかし他の業種は伸び悩んでいる模様。「萩市がひとり1万円の商品券を市民に配布するので、商店街にきてくれるといい」と店主は期待を持って話している。	萩市
	11月1日に長府商店街プレミアム商品券を販売する。問い合わせも多く、かなりの手応えを感じている。大いに販促につなげていきたいものである。	下関市
サービス業	新型コロナウイルスも収束してきて、前年同月比120%の売上であった。	美容業
	コロナウイルス感染者も減少傾向にあるが、急激な温度差などで来店サイクルが伸び、先行きが不安である。	理容業
	9月末の新車新規の販売台数が、登録車では2,390台の対前年比64.3%、軽自動車で1,903台の対前年比64.2%と大幅に下落している。対前年はコロナ禍の影響を受けていることから比較の参考にならないが、令和元年の登録車は4,203台、軽自動車は3,322台で売っていた時と比べて半減している状況となっている。	自動車整備業
	新型コロナウイルスが落ち着いたので、これから客が戻ってきてほしいと願っている。指定感染症のレベルを下げてほしい。	スポーツ・健康教授業
	10月は前半が暖かく衣替えが進まず、後半に気温が下がり衣替えも進み、令和2年10月の売上を上回り、安堵した。感染者が減ってきていることから、飲食店への人の出入りも増えてきたように思う。	普通洗濯業
	10月に入り、新型コロナウイルス感染者数も少し落ちてきた感がある。それに伴い飲食店にも客が少しずつ戻ってきている。このままコロナも収まり、年末に向けて活気が戻って来ることに期待している。	飲食業
	令和2年はGoToの恩恵があったが、令和3年は県民割なのでJR等の利用は少なく、前年の35%程度の売上となっている。	旅行業
	ビジネスが動き出し、当日予約が増えてきた。行政の宿泊補助等もあり、遠方からの団体予約も入ってきた。各種クーポン割引の適用は、客にアンケート等多くの書類に記入していただく必要があるうえ、フロントも自動精算機等使えず、煩雑になっている。	旅館業 下関市

	売上は前年同月比で70%ぐらいである。前年はGoTo事業等の恩恵で、通常年の売上相当に戻っていた。	旅館業 山口市
	入浴者数は前年同月と同数に留まり、売上高も前年並みである。管理費等の経費は燃料費等の値上がりにより増加し、収益に大きく影響した。コロナ関連の補助金や支援金では未払金の解消に追いつかない状況である。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請187件(当支部163件)、前年同月173件(同153件)。太陽光発電への申請43件(前年35件)、オール電化申請89件(前年84件)。LED街路灯への切り替え・新設申請35件(前年46件)であった。	電気工事業
	現在の工事量は少ないものの、公共工事発注(見込)のニュースが早めに聞こえて来るようになり、手持工事がこの2ヶ月で急回復し通常の量に戻ってきた。	左官業
	お盆明けから資材不足の話が少し出ていたが、現在は解消した模様。組合員は、年度初めに受注の仕事やハウスメーカーの仕事で忙しい様子。	管工事業
	当組合は公共事業の比率が高いが、今のところ例年通りの発注ペースで推移している。為替レートは、円安が続いていることから、ガソリンなどが高騰している。生活関連の物品の値上げも続いている。さらに今後、コロナ関連の財政の緊急出動のしわ寄せが、どういう形で処理されるのかなど、不透明な時代に突入したような不安感を覚える。	土木工事業 柳井市
	10月の受注高は、対前年同月比56.5%。令和3年度の累計では、対前年比83.3%。	土木工事業 萩市
	原材料、副資材(銅線、釘、板金部品)等の品不足、値上がりが顕著になってきた。加えて、石油の値上がりにより瓦の値上げが待ち受けている。メーカーにとっては死活問題のようである。今後は屋根工事の施工価格の値上げを早急に検討せねばならない。	屋根工事業
	令和3年は何とかやり繰りして仕事量を確保しているが、その先が見えず、令和4年の仕事がほぼ無い状況に不安を口にする組合員もある。鋼材、ボルト、デッキの手配が困難なうえ、材料費が値上がりしており、その値上げ分が価格に反映されないため加工費が低下している。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	新型コロナウイルスの影響で輸送量は減少している。国内向けは下向き、輸出はやや上向き傾向にあるものの、対前年同月比0.6%の減少。燃料費は1.3円の値上げ。月毎に値上げの兆しが見えてきており、稼働量の減少と、燃料価格の上昇により、中小輸送業の経営はひっ迫しつつある。	一般貨物自動車運送業 下松市

<p>依然として海外からの輸入部品調達に支障が出ており、自動車関連においては夜勤の稼働が停止になるところもある。組合の輸送取扱高は前年同月比 70%程度の見通し。11月についても明確な見通しは立っていない。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
<p>保管・輸送案件ともに、小物雑貨品・生活用品の動きが増えている。特にハロウィン関連等季節ものの製品が増加している。製造業関係の荷物も増えている。一方で軽油の高騰が続いており、利益を圧迫している状況である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲19.5%（令和3年9月1日～令和3年10月20日分）。9月1日～30日分は▲31.9%、10月1日～20日分は▲1.7%。前年度分はコロナで落ち込んでいたので（前年9月分は▲36.9%）、前々年度比では、それぞれ▲47.9%、▲57.0%、▲33.9%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。9月分については、周南▲32.8%、下松▲58.7%、光▲18.2%、防府市地区が▲30.3%で、組合員の全域では▲30.4%、地区外（員外）▲41.1%、合計▲31.9%（▲3,774千円）であった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上昇し（前月660.0\$/トンが今月730.0\$/トン、前年367.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月563.0\$/トンが今月610.0\$/トン、前年341.0\$/トン）。為替も円安（前月110.85円/\$が111.17円/\$）。燃料単価は+6.2%上昇、前年10月比+38.7%となり、収入が落ちている中たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。10月になって、コロナ感染者の減少と連動して、9月に比べると需要が回復しつつあるようで、朝の出勤や通院時間に、配車が遅れる時もある模様。このままコロナが収まり、利用客が以前のように戻ることを、繁忙期となる年末を前に大いに期待されるが、第6波の発生、乗務員の不足、燃料費の高騰などが危惧される。</p>	<p>一般乗用旅客 自動車運送業</p>
<p>10月は肥料、石炭代替燃料の取扱いが多く、対前年比で増加した。新型コロナウイルス感染症の影響に関しては、前年の新規荷役の影響もあり、前々年同月比（コロナ前）売上4.4%増加、前年同月比（コロナ禍）売上10.7%増加となった。</p>	<p>港湾運送業 山陽小野田市</p>
<p>前年同月と比べると増加傾向にあり、前々年同月並みの水準にきている。</p>	<p>港湾運送業 下関市</p>

その他	新型コロナウイルス感染者の減少が見られ、外国人技能実習生の入国の時期が近づきつつあるという期待が持てるようになってきた。実際の入国に関しては、まだ何も決定していないが、各事業所には現状の報告をした上で、入国が決定した場合に、いち早く手続きが行えるように、日本に駐在する大使館に提出するための入国意思確認書の提出を求めたところ、快く応じてもらえ、監理団体への理解と協力においては、何も変わらない。入国を待てない事業所が発生しても、新たに求める事業所の申出があるので、監理団体としては現状維持の状態である。	介護事業
-----	---	------